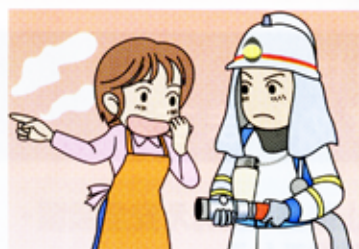


災害時の対策は○○○



火災のときは

容器バルブを閉め、消防署員又は消火にあたる人に容器の位置を知らせ、後の処置を頼んでください。

※電気のブレーカーも落としてください。

※異常があった場合は至急、LPガス販売店または保安機関へ氏名・住所・状況などをお知らせください。(連絡先は表紙に記載)

※再びガスを使うときは、必ずLPガス販売店または保安機関の点検を受けてからお使いください。



地震のときは

ガス栓、器具栓を閉め(火をすべて消し)、二次災害防止のため、揺れが大きいときは、おさまった後で屋外の容器バルブも閉めてください。



台風・洪水の恐れがあるときは

容器バルブを閉め、容器が倒れたり流されたりしないか、しっかりと固定されているかを確認してください。



特に雪の多い地方の対策

●雪囲いや容器収納庫の設置

雪により容器が埋まったり、屋根からの落雪で調整器や配管、メータなどがこわれるおそれがあるため、雪囲いや容器収納庫を設置してください。なお、雪囲いや容器収納庫のまわりは除雪してください。

●排気筒(煙突)の補強

排気筒(煙突)は丈夫な支柱で補強してください。

●雪おろし

雪おろしの際は、ガス設備に損傷を与えないように十分注意してください。

容器バルブの閉め方

災害のときに容器バルブを閉めることは、二次災害の防止にも役立ちます。容器バルブを閉めるときは、時計と同じ右に回すと閉まります。



マイコンメータの復帰方法

復帰ボタンを押してすぐ離す。そして、約1分間待つ。

※ボタンにキャップのあるタイプもあります。

※ガス栓・器具栓を全て閉めて復帰ボタンを押してください。赤いランプと液晶が点滅します。ガスもれがないかマイコンメータが安全確認を行いますので約1分間お待ちください。異常がなければ、赤いランプの点滅と液晶の文字が消えます。これで復帰が完了となりますので、開栓してお使いください。

(復帰しない場合は、復帰を繰り返さずLPガス販売店にご連絡し、点検を受けてください。)



災害に強いLPガス

これまで地震などの大規模な災害時において、どの被災地においてもライフラインの早期復旧が課題となりました。その中でLPガスは復旧の早さや避難所などにすぐに対応してきたことなどから、多くの人々の暮らしに安心をもたらしました。このように、LPガスは「災害に強い」ことが実証されています。



こんなときはLPガス販売店にご連絡ください。

(連絡先は表紙に記載)

- ガス設備の工事や新しくガス機器を取り付けるとき、または取りはずすとき。
- 新築・改築・転居などで、新しくLPガスを使うとき、またはやめるとき。
- ガス以外の工事(水道工事など)を行うとき。
- ストーブなどの季節的機器で、取り付け・取りはずしが困難なとき。

※配管、ふろがま、湯沸器、煙突などにかかる工事を行うときは、法律上の資格が必要です。

※ふろがまや湯沸器の中には給気口や排気設備が必要な機種があります。



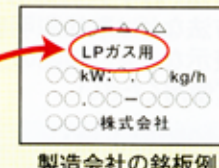
ガス機器をご使用の際はご確認ください。

- LPガスには、必ずLPガス用機器をご使用ください。

都市ガス用機器は使用できません。

- LPガス用機器は全国共通です。
- ガス機器は、取扱説明書をよく読んでから、正しくご使用ください。
- ガス機器の保証書は大切に保管してください。
- 古いガス機器はリコール(修理・回収)対象機器になっている場合があります。製造メーカーやLPガス販売店に確認してください。

新しくガス機器をご使用の際は、LPガス専用の機器であることを確認してください。



製造会社の銘板例

※LPガス用機器には上のような表示があります。



小型容器の取扱いについて

- 容器が倒れないよう、平らな場所に置いてください。
- 容器を横に寝かせて使用しないでください。
- 直射日光や火気を避けてご使用ください。
- 使用後は、必ず容器バルブを閉めてください。
- 容器は、火の気のない風通しの良い屋外に保管してください。
- 不要になった容器は、必ずLPガス販売店に返却してください。

※LPガスが残っている容器を捨てると法律により罰せられます。



小型容器



LPガスの性質

1 空気よりも重い

LPガスは空気よりも重く、もれると低いところや物かげにたまる性質があります。もしガスがもれたら、特に下の方の風通しを良くしてガスを屋外に追い出しましょう。

2 ニオイをつけてある

LPガスそのものは無色無臭ですが、もれたときに分かるように腐臭をつけてあります。

3 燃焼にはたくさんの空気が必要

LPガスが燃焼するためにはたくさんの空気(酸素)が必要です。室内でガスを使用するときは、十分に換気をしてください。換気が不十分な場合は、不完全燃焼を起こしCO(一酸化炭素)が発生しますので十分注意してください。

4 液化した状態で容器(ボンベ)に入っている

LPガスは圧力をかけて液化した状態でLPガス容器(ボンベ)に入っています。

5 クリーンなガス

LPガスは、環境負荷が相対的に小さく、クリーンなエネルギーであると位置づけられています。また、LPガスにはCO(一酸化炭素)は入っていません。